

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

南相馬市教育委員会

1 実施日 令和7年 4月17日(木)

2 調査対象 市内小学校 第6学年全児童(11校 321名)
市内中学校 第3学年全生徒(6校 290名)

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語・算数・数学・理科)

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※ 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

① 小学6年生の国語・算数・理科平均正答率(%)

	国 語	算 数	理 科
全 国	66.8	58.0	57.1
福 島 県	65	55	56
南相馬市	61	56	52

② 中学3年生の国語・数学 平均正答率(%)・理科 IRT スコア

	国 語	数 学	理 科
全 国	54.3	48.3	50.3
福 島 県	53	45	49.6
南相馬市	53	43	48.5

※ 平均正答率とは、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率です。

※ 国の公表方針及び提供資料に基づき、県と本市の数値については整数値による公表となります。

※ IRT スコアとは、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し500を基準とした得点です。

③ 調査結果の概要

小学校は、国語・理科は、全国平均正答率を下回りました。
算数は、全国平均正答率をやや下回りました。
中学校は、国語は、全国平均正答率をやや下回りました。
数学・理科は、全国平均正答率を下回りました。

④ 教科に関する調査結果から見える成果と課題

【 成 果 】

- (ア) 小学校調査の算数における正答率が県平均正答率を上回り、昨年度より全国平均正答率との差が縮まりました。特に図形の領域では、全国平均正答率と同じ結果でした。
- (イ) 中学校調査の国語における知識及び技能の正答率が、全国平均正答率を上回りました。言葉の意味を正しく理解すること、また、漢字の書き取りについても全国平均正答率を上回りました。昨年より全国平均正答率との差が縮まりました。
- (ウ) 中学校調査では、国語、数学ともに昨年より全国平均正答率との差が縮まりました。国語は、県平均正答率と同じ結果でした。
- (エ) 中学校理科の調査では、設問数 22 に対して 6 問、全国平均正答率を上回りました。

【 課 題 】

- (ア) 中学校数学、理科の正答数の分布、IRT スコアの分布を全国値と比較すると、上位層が少なく、中位から下位にかけての層に厚みが見られました。
- (イ) 小学校国語の「話すこと・聞くこと」の正答率が低く、根拠を明確にして自分の意見をまとめたり、相手が何を伝えたいか考えたりする問題に課題が見られました。
- (ウ) 小学校理科では、実験の結果をもとになぜそのような結論になったのか理由を考える問題に課題が見られました。また、記述式の問題に対しての無回答率が高くなっていました。
- (エ) 小・中学校ともに、基本的な問題を取りこぼす傾向にあり、基礎・基本の定着が課題です。

⑤ 今後の取り組み

- (ア) 学習支援員や学力向上教員などと連携しながら、下・中位にかけての層への手厚い支援を今後も継続して充実させるとともに、習熟度別の学習活動等を取り入れるなど個々に合わせてそれぞれの力を伸ばせるように指導してまいります。
- (イ) 小学校低学年段階での「読み」「書き」「計算」の基礎・基本の定着を図り、学習の積み重ねができるようにしてまいります。
- (ウ) 各種調査結果をもとに個々のつまづきを分析して、個別最適な学びにつながる支援にあたるとともに、子どもたちが主体性を持ち、対話を通して協働的に考えを深め、学んだことをつかう授業を行います。
- (エ) 授業におけるまとめ、振り返りの時間の充実を図るとともに、家庭との連携により学習習慣の定着に努めます。

(2) 児童・生徒質問紙調査

【選択肢】 ※ 成果は主に AB 合わせて約 90%以上の回答
 ※ 課題は主に A の全国平均よりマイナスポイントの回答
 A：当てはまる
 B：どちらかといえば当てはまる
 C：どちらかといえば当てはまらない
 D：当てはまらない

① 生活習慣・日常生活等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 朝食を毎日食べていますか。【93.2%】 ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。【92.9%】	○ 朝食を毎日食べていますか。【93.8%】 ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。【93.5%】
課題	● 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。(オンライン授業含む) 【教わっていない69.5% 全国比-14.8】 ● 学校の授業以外に普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(塾での学習を含む) 【2時間以上 22.8% 全国比-2.1】 ● 土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(塾での学習を含む) 【2時間以上 18.3% 全国比-3.2】	● 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。(オンライン授業含む) 【教わっていない56.0% 全国比-15.8】 ● 土日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(塾での学習を含む) 【2時間以上 9.2% 全国比-4.6】

② 情意面・人間関係等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【93.2%】 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【98.0%】 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。【96.7%】 ○ 友達関係に満足していますか。【91.2%】 ○ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【89.7%】	○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【92.5%】 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【95.8%】 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。【98.2%】 ○ 友達関係に満足していますか。【90.0%】 ○ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【92.5%】
課題	● 自分には、よいところがあると思いますか。【42.0% 全国比-5.3】	● 自分には、よいところがあると思いますか。【38.5% 全国比-2.2】

③ 学習面・授業等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。【89.0%】 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。【91.7%】 ○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。【88.4%】 ○ 国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【89.7%】 ○ 算数の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【91.5%】 ○ 理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか。【95.8%】 ○ 理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのかを考えていますか。【89.9%】	○ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。【89.0%】 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。【92.8%】 ○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。【93.5%】 ○ 国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【89.7%】 ○ あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文書を作成する（文字・コメントを書くなど）ことができると思いますか。【88.3%】 ○ あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する・調べるなど）ことができると思いますか。【92.8%】
課題	● 理科の授業内容はよく分かりますか。【46.7% 全国比－5.6】 ● あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼン（発表スライド）を作成することができると思いますか。【22.8% 全国比－15.8】	● 数学の勉強は好きですか。【22.0% 全国比－4.5】 ● 理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか。【8.9% 全国比－4.7】

④ 今後の取り組み

- (ア) 規則正しい生活習慣が身についている児童・生徒の割合が高いです。また、学んだことを生かして健康に気を付けようとする児童・生徒の割合も高いです。基本的な生活習慣が身についている児童・生徒は各教科において正答率が高い傾向にありますので、早寝・早起き・朝ご飯の指導を継続してまいります。
- (イ) 小中学校ともに、学校の授業以外で学習する時間が短いというアンケート結果が出ています。授業以外で学習する時間が長いと正答率も高くなるというデータが国から出されています。家庭での学習の質と量を高めることが学力向上に大切であると考えていますので、子どもたちが、主体的（必要感のある課題・ICT 機器の活用等）に家庭学習ができるよう工夫してまいります。
- (ウ) アンケート結果から先生や学校にいる大人に困ったことがあれば何でも相談できると回答した児童生徒が約70%と全国と同じ割合でした。今後も児童生徒、保護者、学校が連携して困ったことがあれば相談し解決できるよう学校の環境を整えてまいります。
- (エ) 教科に関する調査結果と相反する意識調査の結果もあることから、わかったつもりでいる授業から、個別最適化な学びを通し、実際にできた、わかった、学んだことをつかえたと実感できる授業への転換を図り、学んだことを定着できるようにしてまいります。
- (オ) 「自分にはよいところがある」の質問において児童・生徒ともに全国比でマイナスでしたが、昨年度と比較すると児童・生徒ともに約7ポイント上昇しています。今後も教員が子どもたちを認め、励まし、特に協働的な学びを通して、友達同士で認める場を増やし、子どもたちの「自尊心」を高めてまいります。また、豊かな体験を通して、自己肯定感・自己有用感を高めることができるようにしてまいります。

令和7年度 南相馬市学力向上への取り組み

1 教員一人一人の授業力の向上・授業改善

本市では、平成28年度より「南相馬市授業改善プラン」を作成し、各校の研修体制や教員の授業改善に取り組んでいます。

令和7年度は「学んだことをつかう授業」を重点テーマに掲げ、南相馬授業スタイルを南相馬市内全教職員へパンフレットを配布し、知っていることや学んだこと、身につけた技や力を活用する授業づくりに取り組んでいます。4つのポイント（課題提示・学び合い・まとめ・ふり返り）を意識し、子どもが主役の授業を、本市教職員が一丸となって構想していきます。

2 校外・校内研修の充実

(1) 公開モデル授業研究会

- ・ 学校教育指導委員による授業改善プランに基づいたモデル授業の公開及び事後研究協議会

(2) 学校訪問（令和7年度 6校実施予定）

- ・ 授業参観、事後研究協議会

(3) 教育先進地視察研修

- ・ 秋田県横手市立小中学校への視察訪問研修

3 各校の調査分析・学力向上の取組み

各校の調査分析については、各校のホームページで公開しておりますのでご覧ください。

保護者・地域の皆様へ

児童・生徒の学習環境や生活環境づくりについて、家庭や地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

1 お子さんへの声かけについて

- ・ お子さんの良さを見取り、積極的にほめたり励ましたりすること。

2 SNS等について

- ・ SNSやテレビ、ゲーム等に触れる時間を自分で調整できるよう話し合い、計画を立てたりふり返ったりすること。

3 家庭学習の習慣化について

- ・ 家庭学習の時間を自分で調整できるよう話し合い、計画を立てたりふり返ったりすること。
- ・ 「ふくしまの家庭学習スタンダード」や「各校の家庭学習の手引き」等をもとに、自分で計画的に取り組むことができるようにすること。

4 読書時間の確保や新聞の活用について

- ・ 親子読書の時間をつくったり、市立図書館等を活用したりして、多くの図書に触れることができるようにすること。
- ・ 新聞やニュースの教育的な情報を、親子の話題にすること。
- ・ 保護者の子どもの頃の夢の話などをすること。

5 地域の方々や社会との関わりについて

- ・ 地域行事等への参加を通して地域や社会と関わる経験を増やし、地域の良さや人々のつながりの大切さを学ばせたり、将来の生き方や未来の在り方などについて考えさせたりすること。
- ・ 地域の子どもの積極的に声をかけ、家庭や地域が一丸となって子どもの成長を見守ること。